



# 体験設計認証・推奨制度のご紹介

体験設計認証委員会

# 体験設計認証(CXD) には2つの部門があります

- 体験設計認証



Certified Experience Design

- 体験設計推奨



推 奨  
Commended Experience Design

# 体験設計認証とは

「製品・システム・サービス等に関わる**全ての人**<sup>(1)</sup>に、  
**優れた体験**<sup>(2)</sup>を提供する**企業の連携事業成果**を**認証し**<sup>(3)</sup>、  
広く社会に知らしめることを通じて、体験設計支援コンソーシアムの  
会員をはじめとする**多くの企業の体験設計を支援、推進する。**  
このことを通じて、人々の幸福と社会の発展、創生に寄与します」

# 体験設計推奨とは

社会には既に体験設計を意識せず展開し、優れた成果を獲得している**体験設計の事例が数多く提供**されています。これらの**優れた事例を推奨**することで、体験設計による開発の意義を、より身近で活用できる設計開発手法であることを、**多くの経営者、管理者、技術者、企画者、営業販売者などの理解を深める**目的で選定されています。

# 体験設計認証/推奨（CXD）の申請対象

- 認証の対象は**国内向け**の製品・システム・サービス等、プロセス/仕組み等、プラットフォーム、ツール等、各カテゴリーに該当するものとします
- **発売、公開前**の製品・システム・サービス等**も対象**とします  
(公開可能な範囲で申請)
- **自薦および推薦 ※推奨は他薦のみ**  
推薦の場合は、事前に当事者の了解をいただいでください

# 体験設計認証/推奨（CXD）のカテゴリー

## A) 体験テーマ設計部門

製品・システム・サービスが個別または連携して、それ自体が魅力的で新しい体験価値を生む

## B) 体験プロセス設計部門

製品・システム・サービスが魅力的で新しい体験価値を生むための設計プロセス

## C) ツール部門

魅力的で新しい体験価値を設計するために有効性のあるツールや新たな基盤となるプラットフォーム

# 審査の流れ



- 認証登録(有料)の有効期限は3年間(延長可能)

# 体験設計認証/推奨（CXD）最終審査方法

- 申請内容を、**3つの部門**に分類して審査します
- 訴求ポイントを中心に、**体験設計を推進、支援するのにふさわしい取り組みや成果であるか**を総合的に判断します
- **審査委員長**は、体験設計領域の**学識経験者**が務めます

現在は、山梨大学 教授 郷 健太郎氏

# 審査基準

- 【対象者の理解】 体験を提供する対象者の特定とその理解
- 【展望把握】 利用者の展望(ビジョン)の把握
- 【提供体験の特定】 展望を実現する、これまでにない体験の特定
- 【共創の活用】 持てるリソースと連携する技術やノウハウの共創
- 【品質保証】 提供する体験価値の評価、検証
- 【保守運用】 提供する体験価値の維持と向上
- 【導入設計】 体験価値を知ってもらうための施策
- 【対象者の評価】 実体験における利用者の価値の測定と活用
- 【社会的な理解】 地域社会やコミュニティに対する体験価値の波及

# 体験設計認証/推奨 (CXD) を取得されると

体験設計認証/推奨された事例は、パンフレット、ホームページ掲載されると共にCXDSおよび会員が出展する各種展示会/発表会にて展示/紹介されます。



認証/推奨事例の紹介パンフレット

体験設計認証では、2024年8月までに20事例を認証、5事例を推奨しました。

# 第7回体験設計認証/推奨(CXD)の日程

- 2025年6月末 申請締め切り
- 2025年7月 審査
- 2025年8月～9月 第16回CXDSフォーラムにて認証

**体験設計認証/推奨に  
ふるってご申請ください。**

**自薦・他薦をどうぞよろしくお願いいたします。**